

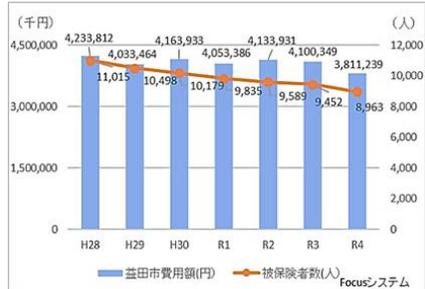
1 計画の基本的事項

健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための事業計画である。

「第2期データヘルス計画」と「第3期特定健康診査等実施計画」の二つの計画の実施結果を踏まえ、次期計画（第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画）を策定し、健康寿命の延伸と医療費の適正化につなげ、「安心して生活ができ、誰もがいきいきとしているまち」の実現を目指す。

2 益田市の国民健康保険被保険者と医療費の状況

①被保険者数と医療費総額

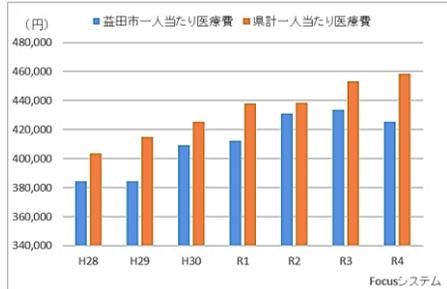


①被保険者数の減少に比べて医療費の減少割合は緩やかであること、また前年に比べて増加している年もあるため、一人当たり医療費は引き続き増加の傾向です。

②年々およそ一定の割合で増加している県平均と同様に本市においても増加傾向となっています。

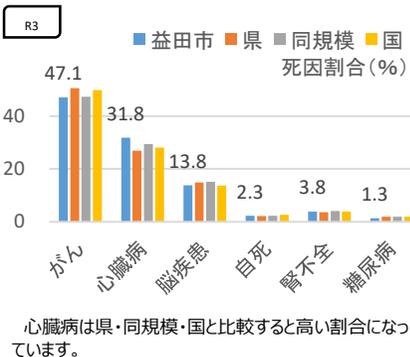
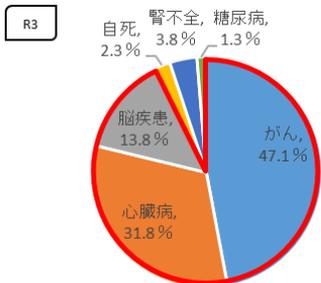
また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い全国的に医療費総額と一人当たり医療費の減少が見られましたが、本市においては増加しました。

②一人当たり医療費



3 主たる死因

主たる死因の約半数ががんが占め、がん・心臓病・脳疾患の3疾患で約9割を占めています。



心臓病は県・同規模・国と比較すると高い割合になっています。

4 特定健康診査・特定保健指導

＜特定健康診査受診率＞



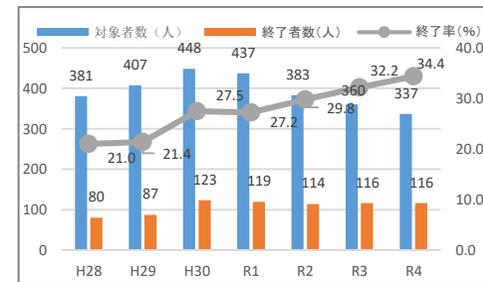
特定健診受診率は、平成28年度から令和元年度までは向上を続けていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより令和2年度以降低下傾向にあります。

本市では平成29年度から未受診者への受診勧奨事業を行っており、令和元年度までの結果はその成果といえます。令和2年度以降には伸び悩みを見せていることから、新たな受診率向上のための効果的な事業展開の推進が必要です。

＜特定保健指導の目標と終了率＞

特定保健指導の対象者数は平成30年度をピークに減少しており、終了率は平成28年度の21.0%から年々向上しています。案内通知の工夫や個別教室を充実させ、日程や場所等対象者に合わせた柔軟な対応ができたことが終了率向上に繋がったと考えられます。

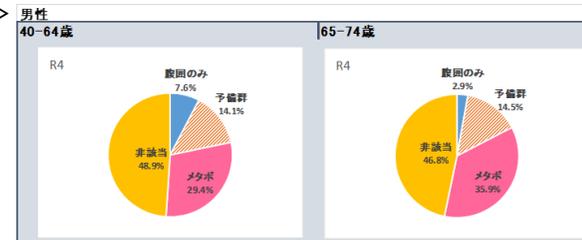
特定健診・特定保健指導実施結果集計表【法定報告】
 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



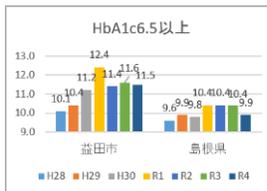
5 生活習慣病に関する状況

＜メタボリックシンドローム判定状況＞

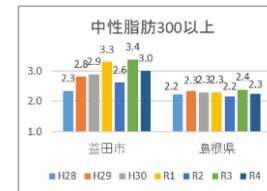
男性についてみると、40～64歳の約30%がメタボに該当、約15%が予備群に該当しており、65～74歳では約35%がメタボに該当、約15%が予備群に該当しています。半数以上がメタボに係るリスクを抱えています。



＜特定健康診査受診者の生活習慣病有所見者割合の推移＞



HbA1c6.5以上の方は年々増加している。県と比較しても高い割合が続いている。



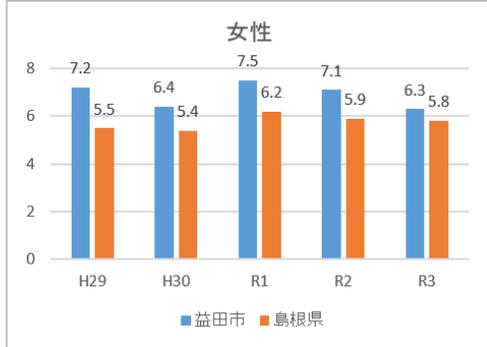
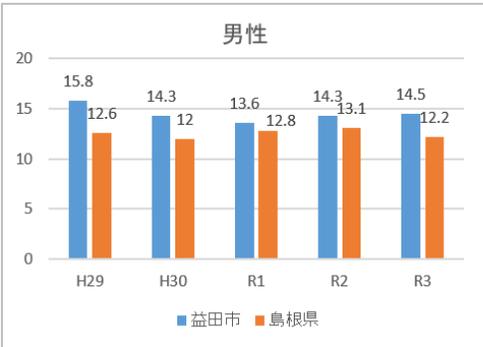
中性脂肪300mg/dl以上の方は受診者の3%と少ないが、県と比較すると高い割合が続いている。



LDLコレステロールが140mg/dl以上の方は、県と比較しても高い割合が続いている。

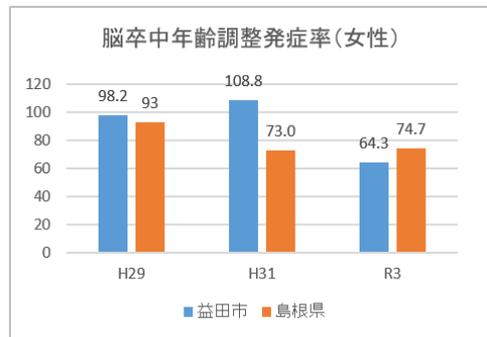
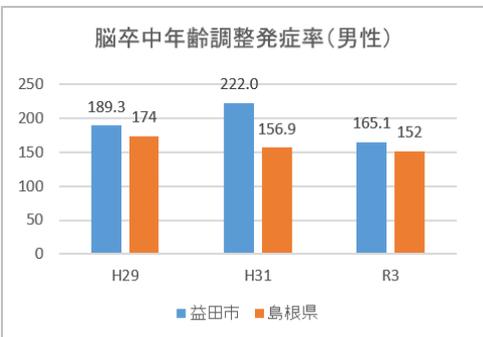
<糖尿病年齢調整有病率>

糖尿病年齢調整有病率を男女別に見ると、男性の方が有病率が高く、令和元年から令和3年にかけて増加し、女性では令和元年から令和3年にかけて減少しています。島根県と比較すると男女ともに島根県より高い有病率が続いています。



<脳卒中年齢調整発症率>

男女別の発症率をみると、男性は令和3年に減少していますが、常に島根県を上回っています。また、女性は平成29年、平成31年では島根県を上回っていましたが、令和3年に減少し、島根県より低くなっています。

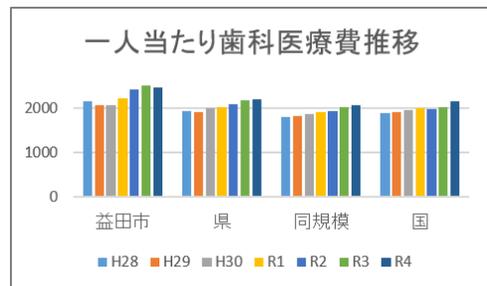


6 歯科保健に関する状況

国、県、同規模市町村の平均と比較すると、歯科における一人当たりの医療費は高い水準で推移しています。特に令和2年度以降では県内順位も2位となっています。

歯科医療費推移(H28年度～R4年度)

年度	一人当たり医療費(円)	県内順位(位)	一人当たり医療費(全国平均)(円)
H28	2151	4	1888
H29	2074	5	1919
H30	2073	7	1957
R1	2215	3	1996
R2	2419	2	1978
R3	2521	2	2091
R4	2466	2	2156



7

今期計画の目的と方策

益田市のこれまでの取り組みの評価や益田市の現状分析から出てきた健康課題を解決するため、目標を設定し、重点的に取り組みます。また、効果的・効率的に保健事業を実施するため、計画的に実施していきます。

【健康課題】

- **がん・心臓病・脳疾患の死因の割合が高い**
主たる死因割合で、がん・心臓病・脳疾患の3疾患で全体の9割を占める。特にがん・脳疾患の年齢調整死亡率が島根県より高い。
- **糖尿病患者の増加**
糖尿病の年齢調整有病率は男性で増加傾向。男女とも島根県より高い状況が続いている。
- **脳血管疾患患者の増加**
脳卒中の年齢調整発症率が男性では島根県より高い状況が続いており、50歳までの若年層の発症割合においても島根県や益田圏域より高い。
- **生活習慣病有所見者割合が高い**
特定健診結果において、HbA1c6.5%以上の者、中性脂肪300mg/dl以上の者が県と比較して高い割合が続いている。
- **メタボリックシンドロームの増加**
男性受診者のメタボ該当者・予備群が増加し、男性受診者の半数以上がメタボに係るリスクを抱えている。
- **生活習慣の改善が必要な者が増加**
特定健診質問票において、運動習慣のない者、喫煙している者、睡眠不足の者の割合が増加。
- **歯科医療費の増加**
歯肉炎・歯周疾患に係る診療件数が増加し、一人当たりの医療費も増加。
- **医療費の増加**
一人当たり医療費が増加しており、内訳としてがんの医療費が増加。

【大目的】

1. 健康寿命の延伸
2. 医療費の抑制
3. がん、心疾患、脳血管疾患による死亡率の減少

【中目的】

- 生活習慣病の発生予防
- 生活習慣病の重症化予防
- メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少
- 歯周疾患予防及び口の健康維持
- 健康意識の向上
- 適正受診・適正服薬の推進及び医療費適正化

【目的を達成するための事業(個別保健事業)】

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1 特定健診受診率向上 | 2 特定保健指導 | 3 生活習慣病予防 |
| 4 糖尿病性腎症重症化予防 | 5 がん検診受診率向上 | 6 歯周疾患検診及び口の健康づくり |
| 7 健康ますだ市21活動 | 8 適正受診・適正服薬促進 | 9 後発医薬品促進 |
| 10 介護予防 | 11 人間ドック | 12 特定健診受診後フォローアップ |

【主な目標：中目的の指標】

中目的	指標	基準値 2022年	目標値 2026年	目標値 2029年
生活習慣病の発生予防	生活習慣病対象者の割合	50.0%	47.5%	45.0%
生活習慣病の重症化予防	HbA1c8.0%以上の者の割合	0.7%	0.6%	5.4%減
	脳卒中年齢調整発症率	2021 男 165.1 女64.3	2025 男160.7 女59.9	2029 男152.0 女51.1
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドローム該当者の減少率	18.9%	20.0%	22.0%
歯周疾患予防及び口の健康維持	歯周疾患検診受診率	5.7%	6.7%	7.6%
健康意識の向上	運動習慣のある者の割合	31%	増加	増加
適正受診・適正服薬の推進及び医療費適正化	重複・多剤服薬情報通知者の医薬品数削減率	39.8%	増加	増加